

穀粉で生存するコクゾウムシ成虫

成果の特徴

- コクゾウムシは米、麦などの穀物を食害する大害虫です。
- コクゾウムシの成虫が穀粉で長期間生存できることを明らかにしました。



玄米から脱出する
コクゾウムシ成虫

成果の内容

コクゾウムシの成虫が穀粉でどの程度生存するかについては知られていませんでした。

コクゾウムシ成虫が穀粉でも生存でき、強力粉、小麦全粒粉では長期間生存が可能であることが明らかになりました（ただし米ぬかでは生存できず）。

コクゾウムシの幼虫は粒状の飼料でのみ発育が可能です。

玄米などがなくても穀粉だけでコクゾウムシ成虫が生存できることを踏まえた防除が必要であると考えられます。

玄米及び穀粉でのコクゾウムシ成虫の生存期間

飼料	平均生存期間(週)
玄米	9.6c
米ぬか	0a
強力粉	27.2d
小麦全粒粉	20.8e
玄米粉	2.5b
餌なし	0a

玄米及び穀粉から羽化した次世代のコクゾウムシ成虫数

飼料	次世代の成虫数(頭)
玄米	1371.5
米ぬか	0
強力粉	0
小麦全粒粉	0
玄米粉	0
餌なし	0

異なる文字間で有意差あり ($p<0.05$)

想定される用途・連携希望先

コクゾウムシの発生がある穀物乾燥調製施設、穀物倉庫、精米所などでの利用が想定されます。

参考

今村太郎（2024）穀粉と玄米におけるコクゾウムシの成虫寿命と産子数．都市有害生物管理 14: 35-40.